

高坂さとしの
おはなし・わーど

おはなし、おはなし、なんだろな。
あのねのねのね、聞かせてね。
こぶし保育園のおともだちが、
3つのお話をしてくれました。

こぶし保育園児の不思議なおはなし

あ の ね の ね の ね



いちご組のあいちゃんが話してくれたのは、
「パンミジュさぎ」



ぶどう組のかずくんのお話は、
「おまけのオバケ」



ばなな組のゆりちゃんは、

「王子さまの耳はロボの耳」



作 ● 堀切り工
演出・出演 ● 高坂さとし
美術 ● 小峯三奈

こぶし保育園のおともだちのお話は……



いちご組の **あいちゃん** が話してくれたのは、「**パンツうさぎ**」。

お気に入りのパンツについているウサギさんが、あいちゃんは大いすき。でも、おわかれのときがやってきました。ウサギさんは「あいちゃん、ぼくのこと、すきでいてくれてアリガトね」と言って、高く高く月まで飛んでいってしまいました……。



ぶどう組の **かずくん** のお話は、「**おまけのオバケ**」。

かずくんは10まで数えられるようになったんだ。でも、「おまけのきしゃぼっぽ」って言おうとして、まちがえて「おばけのきしゃぼっぽ」って言ったら、「呼んでくれてありがとう〜」って、まっくろいオバケがむかえにきた。汽車にのって、オバケの国へつれて行かれたかずくん。帰ってこられるのかな？



ばなな組の **ゆりちゃん** は、おばあちゃんから聞いたポルトガルの昔話「**王子さまの耳はロバの耳**」。

王様とお后様に王子が生まれたので、三人の妖精がやってきて贈り物をしました。一人目は「賢さ」を、二人目は「美しさ」を、そして三人目の妖精は「ロバの耳」を贈りました。どうしてそんなおかしなものを贈ったのでしょうか？ 王子はだれにもロバの耳を見せないようにしていたけれど、床屋に知られてしまいます……。

お話を聞いたみなさんも、おもしろい話を知っていたら教えてくださいね。

◆ **ことば遊びも楽しんで……**
お話の間には、ことば遊びをします。
**「ころころ ころころ なんだろな？
ころころ ころがる なんだろな？」**
子どもは、楽しみながらことばを身につけます。
そのことばたちは、いつかお話に変身する
かもしれません。
**「ぐんぐん ぐんぐん なんだろな？
ぐんぐん そだつの なんだろな？」**
それは、子どもたち……。

堀切り工（作家、編集者、日本ペンクラブ子どもの本委員）

「パンツうさぎ」と「おまけのオバケ」の話は、姪と息子に寄り添って紡ぎました。子どもは毎日お話を紡いでいます。そのお話に耳を傾けるのはとても楽しいことです。また、子どもはお話の中に入りこんで、その世界を体感します。お話は子どもの心を育む栄養となります。子どものお話に耳を傾けること、子どもにお話を語ることにこめました。

☆作者の言葉

子どもはお話を紡ぎ、
お話は子どもを育てる

アート企画 陽だまりとは…

東日本大震災後の演劇を考える合同公演として児演協が製作した「空の村号」に出演した高坂諭が、作者の熱い思いに触れ、ドラマ・リーディングという表現にこだわり、多くの子どもたちへそして被災地へ心を寄せ続けていきたいと願い設立。子どもの健やかな成長を願い、心のぬくもりを大切にしたい作品や社会の今を考える作品にとりくみ、届け続けることをめざしています。

一般社団法人 アート企画 **陽だまり**

〒018-3332 秋田県北秋田市鷹巣字平崎上岱 13-90
TEL・FAX 0186-63-1474
E-mail info@art-hidamari.org

高坂諭（こうさか さとし）

1948年生まれ。秋田県北秋田市出身
舞台芸術学院卒業後、劇団風の子入団。

俳優として、幼稚園・保育園、学校をはじめ全国各地を巡演するほかアメリカ、カナダ公演にも参加。また、児童・青少年演劇の普及・向上を図る活動にも幅広く積極的に参加。

2014年、44年在籍した劇団風の子を定年により退団。アート企画陽だまりを設立。

主な出演作品

「地平線の五人兄弟」

「宝のつるはし」

「子どもセールスマンⅠ号」

「海よ山よわが島よ」

「森から来た魚」

「みちのくの民話」他

一般社団法人アート企画陽だまり代表

前日本児童・青少年演劇劇団共同組合理事

元アシテジ（国際児童青少年演劇協会）日本センター理事

元劇団風の子事務局長

元劇団風の子協議会事務局長

元全国児童青少年演劇協議会運営委員

元日本児童・青少年演劇劇団協議会祭典委員長

元日本芸能実演家団体協議会組織委員会副委員長

《「ふくしま文化芸術による子供の育成事業」の様子》

